



同志社女子大学 教職課程センターだより

第 22 号

2021 年 4 月 30 日発行
同志社女子大学教務部教職課程センター
〒610-0395 京都府京田辺市興戸
TEL 0774-65-8488
FAX 0774-65-8418
e-mail: menkyo-t@dwc.doshisha.ac.jp

INDEX

ウィズコロナだからこそその教育実習体験を！	川崎 祐子 1
特集 ～これからの教師に望むこと～	
これからの教師に期待すること	川田 隆雄 2
これからの教師に期待することー教育実習の場面ではー	小宅 理沙 2
教師への道	
公立受験への道のり	原田 朋佳 3

教採を受けるにあたって	多田 奏恵 3
教員への道	青野 那美 4
教員採用試験を終えて	谷川野乃香 4
教職大学院合格までの道のり	森口 菜美 5
コラム	
これほど木々や山々、田園風景等を意識した一年はなかった。	佐藤 光友 5
キャリア支援部よりお知らせ	6
教職課程センター、免許・資格課よりお知らせ	6



ウィズコロナだからこそその教育実習体験を！

生活科学部長

川崎 祐子

およそ1年半前に中国に端を発した新型コロナウイルス感染症の流行は、あっという間に世界中に拡散し、いまだに出口が見えない状況です。教育界も大きな影響を受けました。小中高校は昨年3月の途中から休校、大学は4月から入構禁止になりました。だからといって学年丸ごと留年させるわけにもいかないので、教育活動そのものを止めることはできず、文部科学省からは矢継ぎ早にたくさんの通達が出されました。ICT環境が整わない学校も多い中でいきなり経験のない遠隔授業を行うという、ある種の社会実験とも言える状況になりました。当然のことながら教育現場は大混乱でした。これを機会に日本も年度初めを9月に変更するかどうかの議論までなされました。本学では、基本的には秋学期が始まるまで学生の入構を禁止していましたが、小中高校の対面授業は、感染症対策を取りつつ6月から再開されました。しかし、例年なら6月に行われることの多い教育実習は、昨年はすべて秋以降に移行されました。さらに、本来3週間（あるいは2週間）の実習期間のうち1週を大学内での補完授業や学校ボランティア活動で代替せざるを得なかった学生もいました。介護等体験も実習先には行けず、代替措置（レポート課題）が取られました。残念な面もありましたが、それでもなんとか全員が無事教職免許を取得して卒業できて、本当に良かったです。

教育実習に行った学生の中には、タブレットと教育用ソフトを用いた遠隔授業を体験できた人もいましたが、多くの実習生は例年より教壇実習の回数が少なめだったようでした。今年もおそ

くは似たような対応になることが予想されます。教育実習に行かれる皆さんには、コロナ禍にあってもできるだけ多くのことを吸収してきていただきたいです。平時とは異なる状況の中、臨機応変に対応する先生方の様子をしっかりと観察してきてください。児童・生徒が帰った後の消毒作業なども積極的に手伝いましょう。いわばコロナという外圧を受けてICT機器の導入が一気に進んだので、それを活用した授業を行うよう求められるかもしれません。今からしっかり準備し、授業では失敗を恐れず果敢に挑戦してきてください。3週間（あるいは2週間）はあっという間です。ウィズコロナだからこそ、今しかできない貴重な体験を自ら進んで行き、有意義な教育実習にしてください。もちろん、皆さん自身のコロナ感染症対策を万全にすることは言うまでもないことです！





～これからの教師に望むこと～



これからの教師に期待すること

学芸学部メディア創造学科 教授 川田 隆雄

教師になって30年近くなりますが、いまだに教師がどうあるべきか、ということについては確信が持てる状況にはなっていません。教職課程の授業でも学生と「教師の役割」について議論することがしばしばありますが、以前よりはるかに捉えにくい役割になってきていると感じます。自分が小学生、中学生の時また大学生の時に教師に対して持っていたイメージに現在、教師をしている私自身にあてはめることが出来ません。教師は過去にそうであったように、学生や生徒から仰ぎ見られる特権的立場にはもはやなく、一方、聖職者のようにいつも襟を正した窮屈な立場にもありません。教えられる立場の人々に、知識の上流から下流に流しこむ非対称な存在ではなく、むしろ平らな地面に同じように立つ、一人の人間どうしとして教育現場に立つこととなります。

非対称の教育環境を失った教師にとって、実は学校はとても難しい場所になっているといえます。けれども、教師はこの苦しい状況を自覚しても、それを表現し社会と共有することはあまり許されません。それは、いにしへの教師像の亡霊がいまだに徘徊しているからです。よく考えてみると現代で教師になるということは、極めて困難な道を選んだことになるといえると思います。

では、どのような理由をもって教師になることを選び、そして教師の行う行為に意義を見出すことができるのでしょうか？ 最初に述べたように、教師がどうあるべきかについて私になんらの確信があるわけではありません。でも、30年以上教師をやってきた経験から次のことは言えます。

これは学生時代の経験が活かされて、楽しそうな人生を送っているなどと思う卒業生は、学生時代に自分の興味を発見し、自分の主体的意思が芽生え、興味を追求しようと自律的行動に移した学生です。いいかえると、主体的にこの世界のおもしろさを見出し、それを追求するために主体的意思に従って行動する学生です。実はこの主体的意思を教育で発生させるのがとても難しいと感じます。特に古典的な「教えてあげる」というスタイルの教育方法では、強度のある主体的意思はなかなか発生してこないという感想をもっています。でも、この主体的意思こそ、世界や未来を作り出す原動力になり、なにもましてその当人は面白い人生を生きることになります。

私はみなさんに、「～のような教師になってください」ということはできませんが、ただ教師になることがあれば、「主体的意思の芽生え」に焦点を当てて、生徒さんや学生さんの変化に関与してほしいと思います。主体的意思が芽生えた人間と人生の時間を共有するのはとても面白く、そして実はそのような人はあまり多くいないと思います。上で述べたように現代、難しい役割をになう教師が「主体的意思の芽生え」の発生に少しでも関与できれば教師は面白い職業になりうると思います。そして当然のことですが、教師自身も強度のある「主体的意思の芽生え」を経験し自律的に行動している人が望ましいということでもあります。



教職課程特別研究会、対面で実施できました（2021年3月）

これからの教師に期待すること

—教育実習の場面では—

現代社会学部現代こども学科 助教 小宅 理沙

今から、もう約20年前のことになりますが、大学院生時代に教育実習に行ったことを今でも鮮明に覚えています。私の実習先は高等学校でしたが、授業の準備に毎日取り組み、また模擬授業の練習は、大学院生としては同期でもあり、同時に現役高等学校教諭でもある仲間・同期の前で、何度も繰り返しました。実習が始まってからは、毎日が必死すぎたせいか、記憶が曖昧です。ですが、高校生と直接色々な話を昼休み中にしたこと、話をした高校生の姿や顔などは、はっきりと覚えています。実習最終日には、部活などがあっただろう貴重な放課後の時間をわざわざ利用し、寄せ書きをもらい、サプライズで私のために送る会を企画してくれて、こちらが最後に「ありがとう。元気でね。」と言うと、男子高校生から「泣かへんのかい」と突っ込まれた場面については、20年経った今でも昨日のこのように思い出します。高校生は、実習生を歓迎してくれていたのですね。

そして、印象に残っている中の一つに、当時は「先生らしい」服装、髪型などに注意をしなければならない時代だったということです。細々したことにもまで気を使いました。スカートにもかかわらずベルトは使わないよう、と注意されたりもしました。今ではあまり、そもそもベルトを使ったりしませんかね。その後、グローバル化が進み、多様性が重視される時代へと変化を成し遂げてはいますが、それぞれの実習先での決まり事等あるはずですので、事前にしっかりリサーチしておいて下さいね。

さて、最近の小学校では、2020年より英語教育が全面実施されたり、またプログラミング教育が必須になったりと、おそらく皆さんの小学校時代と比べてもめまぐるしく変化しているはずです。小学生の長男は、「パソコンの授業ではこんなことを習った」「英語の時間に、『(鬼滅の刃の)全集中の呼吸って英語で何て言うの?』ってA君が聞いてた」など小学校であった日々の出来事を色々話してくれます。流石！今、流行りの鬼滅の刃ですね！こんな質問が飛び交うことも想定して、今子どもたちの中で、どんな絵本やアニメ等が流行っているのかなど、模擬授業の担当科目云々とは関係なく、把握しておく必要がありそうですね。

また、小学生の長男から聞いた次のようなエピソードもありました。人権学習、児童虐待早期発見のための授業だったのかな？と思われるのですが、「家にはお父さんとお母さんがいますよね」という内容のことを、先生が言ったようです。すると、クラスのお友達の一人が、「僕にはお母さんいーひんけどね。」と言ったみたいです。そこで私は、「お友達がそう言ったときに、先生は何て言ったの？」と聞いてみると、「先生には聞こえてない。」とのことでした。きっとお友達は、独り言のレベルの声の大きさで、そう言ったのですかね。

このようなエピソードからも分かるように、私たちが一般的に考えてしまう、家族の定義とか、普通はこうかな、とか、こんな風で当たり前かな、という決めつけや前提、思い込みは、時に子どもたちを不快にしたり、傷つけてしまうことになりかねません。きっと小学校の先生はそんなことにも配慮し上で、様々な工夫をされているはずですが、さきほどのエピソードのように、先生と子どもの思いが行き違ってしまうこともあります。いくら配慮しても配慮し過ぎることはないようです。皆さんが、幼稚園や小学校などへ教育実習に行く際には、自分なりの様々な偏見や思い込みを一度リセットして、真っ白な状態で子どもたちに向き合ってみて下さい。かつて高校生が実習生の私を歓迎してくれたように、幼稚園児や小学校の児童の皆は、実習生のお姉さん先生のことを、楽しみに待っていてくれるはずです。

教師への道



公立受験への道のり

伊丹市・保育士、保育教諭、幼稚園教諭 原田 朋佳
(現代社会学部現代こども学科 2020 年度卒業)

私は 2021 年春から、兵庫県伊丹市の公立保育園、こども園、幼稚園で勤務することが決まりました。昨年の四回生の春学期は、遠隔授業になり友達や先生と直接会えない中、オンラインを通して、試験対策を行いました。同じ夢を目指す仲間と共に様々なことを乗り越え、周りの先生方にも沢山支えてもらい、合格することができたと思います。

これから、教師を目指す方や、公立の保育施設を志望する方に、私から試験対策としてアドバイスできることをここに書かせていただきます。

まず 1 つ目が、みなさん自身が受けたと思っている保育園やこども園、幼稚園の自治体についてよく知っておくことが大切だと思います。自治体によって教育の方針はそれぞれ異なっており、特性があります。志望する自治体の教育の特色（どんな保育を行っているのか・どんな子育て支援があるのか等）をよく知ることで、なぜその自治体を志望するのかを考える上でも、参考になると思います。

またそれ以外でも、自治体の特徴（市の旗、市の花、特産品等）をよく知ることが大切です。公務員試験では、面接で受験する市について聞かれる場合があります。一見保育とは関係なく思いますが、面接官は受験生がどのくらい市のことについて知っているのか、または市に対して熱意を持っているのかを知るためにもこのような質問をする場合があります。公立受験をする上で、志望する自治体についてよく学んでおくことが大切です。

私は受験前、伊丹について知らないことが沢山ありました。そのため、市が募集している幼稚園ボランティアや、子ども食堂ボランティアに参加し、その中で伊丹市の取り組みについて実践的に学びました。気になる自治体があれば、ボランティア活動など積極的に参加することも、良い経験へとつながると思います。ぜひ、みなさんも挑戦してみてください。

そして、2 つ目が面接対策についてです。

4 回生の春学期、予定では先生方と直接、面接練習の授業がある予定だったのですが、遠隔授業によりオンラインでの対策になりました。オンラインの対策では、質問に対する自分の回答が正しいのか不安になることもありました。しかし、面接は正当な回答を準備するよりも、みなさん自身の思いや考えを伝えることが重要です。そして、何よりも大切なのは笑顔と明るさです。特に保育関係の仕事は、面接時に「子どもと関わる時に明るく振る舞えるか」「どんな時でも、温かい気持ちを忘れずに対応できるか」等の、いわゆる保育者としての資質をよく見られると思います。面接は入室時から始まっています。部屋に入る時から笑顔でいることで、面接官にも良い印象を持ってもらえると思います。なので、面接は笑顔と明るさ、そして前向きな気持ちを忘れずに頑張ってください。

また、面接は慣れておくことが大切なので、時には友達や先生方に練習してもらい、良いことだと思います。私も休校中は、友達や先生とオンラインで練習したり、キャリア支援部で面接を見ていただきました。自分の面接を見てもらうことで、客観的な視点からのアドバイスや、時には励ましの言葉をもらい、私にとって面接への自信や力になりました。

受験をこれから迎えられるみなさんも、不安になったり、悩むこともあるかもしれませんが、その時は抱え込まずに、周りの人に相談したり、同じ受



教員採用の状況に聞き入る受講生（2021 年 3 月）

験生と一緒に練習し合うことが大切です。こども学科の仲間や先生方、そしてキャリア支援部の先生方等、大学には、力になってくれる人が沢山います。勿論わからないことがあれば、現場で働く卒業生、私たちにいつでも聞いてください。

以上の 2 点が、みなさんにお伝えしたい私からのアドバイスです。みなさんが無事に試験を迎えられますよう、心から応援しています。

教採を受けるにあたって

大阪市・小学校教員 多田 奏恵
(現代社会学部現代こども学科 2020 年度卒業)

私は幼い頃からこどもが大好きで、保育所に通っていた時から保育士になりたいと思っていました。短大でも夢は叶えることができましたが、大学入学時は 4 年制に通い自分の夢の幅を広げたいと思い、同志社女子大学に入学しました。4 年生の大学でしか小学校の免許が取れないことから、幼稚園小学校の免許を学校で取得し、保育士免許は自力で取得しました。

小学校教員を目指す大きなきっかけとしては、4 週間の教育実習を行ったことです。

授業をすることの楽しさ、児童の喜びを共に感じ、6 年間という長い期間児童と関わることでできる小学校教員に魅力を感じ、悩んだ結果、大学 3 年次の秋に小学校教員になることを決意しました。

他の子に比べ、スタートが遅いことへの不安、全教科教える小学校教員を目指すことに不安はありましたが、自分で決めたことだからととりあえず最後までやってみようという気持ちで教員採用試験の勉強を進めました。

1 日 10 時間以上勉強、中学生のワークを一通りするなどして苦手を徹底的に絞り出し、何度も繰り返し反復することを意識しました。他の子と比べるのもいいですが、不安になりすぎると返って逆効果なので、“自分は自分。”過去の自分と比べて、自分の成長を解るように毎日の勉強の記録を可視化していました。そうすることで少しずつ前に進んでいることを体感し、次の目標を立てることができました。

教員を目指すきっかけは人それぞれあると思います。

どんなスタートであっても、自分が決めた勉強方法を最後まで貫くことが大事だと思います。たまに、友達・先輩・先生にアドバイスを聞いたりして自分に合うと思ったものを取り入れて、より良く改善していくことが一番良いと思います。

教員への道

兵庫県・小学校教員 青野 那美
(学芸学部音楽学科 2020 年度卒業)

私は、音楽学科の学生ですが、小学校教諭になることを目指し、兵庫県と岡山市の教員採用試験を受験しました。そして、無事に両方の自治体で合格することができ、2021 年度からは、兵庫県の小学校教員として働かせていただきます。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、前期がオンラインでの講義になってしまいました。自宅で、一人で勉強することはとてもしんどく、何度もくじけそうになりました。コロナ禍という前年に例を見ない状況の中で、どのように試験に向けて取り組んだのか、私なりの勉強方法を 2 つ、皆さんにお伝えしたいと思います。

まず、1 つ目に行ったことは、おおよそのスケジュールを立てることです。7 月中旬にある 1 次試験の筆記テストまでに、どのような順序で勉強をしていくか、3 月にざっくりとした予定を立てました。(4 月は算数と理科を終わらせる、5 月は歴史を覚えて過去問も解いてみる、のような…)そして、それぞれの月初めに、その月のざっくりした予定を、1 か月で終わらせることができるように細かく振り分けていき、日々勉強すべきスケジュールを立てていきました。そうすることで、毎日、何の勉強をしようかと悩むことなく、ゴールに向かって勉強することができました。

次に、2 つ目に行ったことは、本屋などで売られている教採用の参考書と一緒に、他の教材もうまく活用して勉強することです。私は、社会の勉強を、自宅にあった中学生用ワークを使って勉強しました。中学生用ワークで勉強することによって、参考書では掴みきれなかった歴史の流れや、政治の仕組みなどを分かりやすく理解することができました。他にも、漢字の勉強は、自宅にある漢検用のワークを使って勉強したりもしました。教採の一般教養や小学校全科の勉強の内容は、これまで中学や高校で学習してきた内容がほとんどなので、自宅にある教材などをうまく活用して勉強していくのも、すごくオススメです。

どうやって勉強していったらいいか、何から手をつけたらいいのかわからず、すごく不安になると思います。私も、受験勉強自体が初めての経験でとても不安いっぱいでした。上記に述べた私の経験や方法が少しでも、皆さんの力になれば幸いです。合格に向けて頑張ってください。応援しています。

教員採用試験を終えて

京都府・公立高校教員 英語科 谷川野乃香
(表象文化学部英語英文学科 2019 年度卒業)

私は 2020 年 3 月に同志社女子大学を卒業した後、今年度は科目等履修生として教職を履修し、来年度から京都府立高校の英語科教員として働かせて頂くことになりました。今回は、私が教員採用試験を受験した感想と、大切だと感じたこと 2 つお伝えします。

☆感想☆

「楽しかった!!」と言うのが、教員採用試験を終えた直後に私が抱いた感想です。私はずっと、教採は大変でしんどくて怖いものというネガティブなイメージを抱いていました。ですが、実際は志を共にする仲間に出会えたり、教職に対する自分なりの気持ちをぶつけたりと予想以上に面白いものでした。教師という職業に長い間あこがれてきた私は、試験対策がしんどいと感じたことはなく、勉強することの全てが新しく新鮮で、憧れの先生に近づ



教採に合格した先輩の貴重な体験談、教職課程特別研究会 (2021 年 3 月)

いているという実感を持って取り組むことができました。特に二次試験当日の模擬授業は、教育実習にまだ行っていなかった私にとって、私が考えてきた授業を初めて大学外で行った場であり、練習通りにはできませんでした。そのワクワク感と嬉しさは今でも鮮明に覚えています。なので、これから受験する皆さんには、必要以上に構えすぎることなく、むしろ「楽しんでやるぞ!」くらいの意気込みをもって取り組んでほしいです。教採はそんなに怖いものではありません。楽しく生き生きとした笑顔で挑んでください!

☆大切だと感じたこと☆

まず、教採を受けるにあたって絶対に大切なのは、自分の中にぶれない軸を持つことだと思います。軸が定まっていると、面接でどんな質問を聞かれても、ある程度の一貫性をもって答えることができます。そして、それは自信にも繋がると思います。私の場合は、「なぜ英語科の教員になりたいのか」ということを中心に考えて、教育に対する自分なりの考えをまとめて軸を作っていました。軸を定めることは簡単ではありませんが、面接練習や自己分析を通して、自分の考え方や想いを言葉にしながら、時間をかけて見つけていけたら良いと思います。

2 つ目に大切なのは、一緒に教採に挑む仲間の存在です。教科や校種、受験する自治体に関係なく、情報を共有し合ったり、zoom などを活用して夜まで勉強会や面接練習をしたりと、仲間の協力と支えのお陰で乗り越えることができました。特に模擬授業や面接練習では、お互いに良いところを取り入れ、改善点を出し合うことで、自分だけでは思い付かないような意見や発想を教えてもらうことができ、広い視野を持てるようになったと思います。1 人で頑張ろうとせずに、周りの人と協力しながら対策をしてほしいです。頑張ってください!!



真剣に頑張る面接練習、教職課程特別研究会 (2021 年 3 月)

教職大学院合格までの道のり

京都教育大学連合教職大学院 進学 森口 菜美
(表象文化学部英語英文学科 2020 年度卒業)

私が京都連合教職大学院への進学を考えたのは高校生の時です。中学生の時お世話になっていた英語の先生が「本気で教員になりたいなら、これからの教員は大学院だ」と仰られたことをきっかけに大学院に興味を持ち、学校教育に関して学べる大学院をインターネットで探していたところ、偶然京都連合教職大学院を見つけ、行きたいと思うようになりました。大学4年になるまではどのコースに入るか迷っていましたが、ユニバーサルデザインの授業づくりという観点から外国にルーツを持つ子どもたちへの支援を研究するために、授業力高度化コースを志望し、合格を頂きました。

院試対策のベースになったのは、教員採用試験対策です。4年生になってから10月に京都教育大学で試験を受けるまでの間、およそ週1回のペースでキャリア支援部の依田先生に教員採用試験と院試の面接・小論文対策をしていただきました。また、教職特別演習の授業の一環で教員採用試験の対策も受けましたし、それぞれの試験直前には教職課程センターの中川先生にも助言をいただき大変励ましていただきました。教職特別演習の授業の中で、直近の教育課題や新学習指導要領について考える機会があり、それらについて調べ考える過程が院試の小論文対策に役立ちました。院試当日は少し緊張しましたが、大学院でやりたいことがはっきりしていたことと、大学生



連合教職大学院修了式にて (2021 年 3 月)

活で培った度胸でなんとか乗り切りました。

ここでお伝えしたいのは、ひとりだけで何もかも頑張ろうとしなくていいということです。先生方や周りの仲間をたくさん頼ったからこそ、合格できました。それから、大学を卒業してすぐに教員にならないとしても、教員採用試験は受けた方がいいと思います。その過程が院試対策に必ず役立ちます。自分の強みを忘れずに、ぶれない芯を持って頑張ってください。私も2年間の院生生活でステップアップし、大学院修了後素敵な先生になれるように学び続けます。

コラム



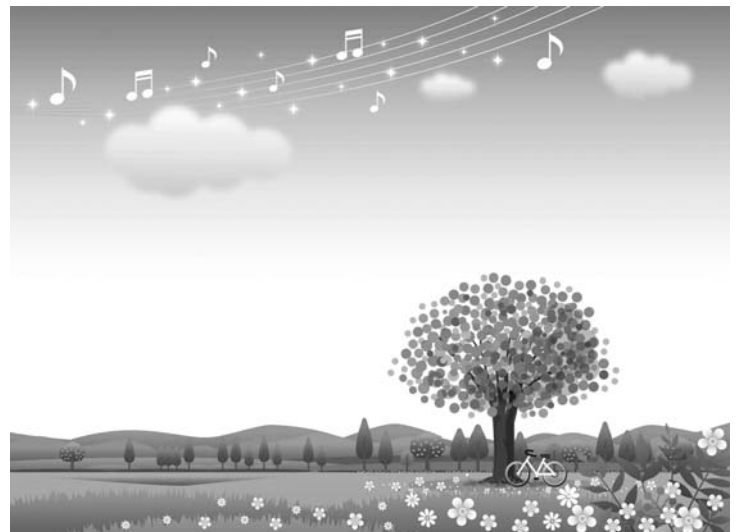
これほど木々や山々、田園風景等を意識した一年はなかった。

教職課程センター特任教授 佐藤 光友

今まで私自身が当たり前に活動していたことがそうでなくなったりしています。ものを見ることや聞くことといった今までそれほど意識していなかったことが、年齢も加味してのこととされますが感じられることが多くなり、やはり人生には限りがあるのだなあ実感させられたりもしています。そんな中で、緑、木々、山々、田園風景、小鳥たちといった存在をこれほどまでに意識させられた年もなかったように思われます。なぜならば、自分が育ってきた環境がどちらかと言えば都市であったこともあるのですが、大人になってから田舎に暮らしてきたのですが、なぜか都会に行きたいという思いが強かったところがありました。

今の私は、これほどまでに身近な木々や山々があるということに気づかされ、それらとの出会いに喜びを感じていることにも驚かされます。近所のスーパーの近くの桜並木、それまではスーパーに行っても歩こうとはしませんでした。でも、私だけではなく、多くの人々が楽しそうに桜並木を散歩していて、ああ本当に美しいとため息をついたくらいです。清らかな川の流れ、そよ風の心地よさ、どれだけ人類が進化したとしてもやはり、人間はこの大地へと帰っていく、そういう思いがしました。桜並木も田園ももちろん最初からの自然物ではないかもしれませんが、大地から生まれてきたものには変わりありません。

その大地も一步一步踏みしめながら、ああ今ここに生きているんだなあ、と少しオーバーかもしれませんが、本当にそういう心境になりました。木々たちは大地にしっかりと根を張り、どんと構えている、そんな逞しさを感じ、また山々や木々、田園に包み込まれて見守られている、そういった思いにもなりました。これら木々たちが人々をなにげなく育ててくれているといったことを実感させられた一年でした。





キャリア支援部よりお知らせ

教員を志すみなさんのために、キャリア支援部ではいろいろな支援行事を開催しています。教員採用試験の対策講座や、2、3年次のうちに教育現場を体験するインターンシップを実施しています。授業を通じて知識を習得し、課外活動等を通じて人間性を高めると同時に、これらの行事を積極的に利用して採用試験や教育現場の情報を入手し、合格への道を歩んでください。

～2021年度教職関係行事年間スケジュール～

・セミナー関係・

◎公立学校教員採用試験説明会

(京都府、京都市、大阪市、滋賀県、神戸市、和歌山県等)

対象：4年次生 1～3年次生も受講可／4～5月開催

各教育委員会の採用担当の方から、令和4年度採用試験に関する情報を提供していただきます。

・キャリア・資格取得支援講座・

◎教員採用試験（教職教養）対策講座

対象：2～4年次生／全5回／京田辺

春学期 4月～5月、秋学期 10月～11月

◎教員採用試験（小学校全科）対策講座

対象：2～4年次生／全7回／京田辺

春学期 4月～6月

◎教員採用試験（人物評価試験）対策講座

対象：3～4年次生／全5回／京田辺

春学期 6月

詳細は本学ホームページ『キャリア・資格取得支援講座』のページまたは『2021キャリア・資格取得支援講座ガイド』を参照してください。

・インターンシップ・

対象：2年次生以上／夏期休暇中に実施

インターンシップでは事前・事後指導講義に出席することが条件で、条件を満たした実習に対して単位が付与されます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止しましたが、2019年度には長岡京市の中学校、寝屋川市の小学校に1名ずつ実習生が参加しました。実習内容や参加の感想などを『2019インターンシップレポート』に掲載していますので、ぜひご覧ください。2021年度のインターンシップについては5月に募集説明会を実施する予定です。



教職課程センター、免許・資格課よりお知らせ

《本学ホームページ「在学生の方へ」でもお知らせします》

◎2022年度京都連合教職大学院 特別推薦入学 学内選考について

京都連合教職大学院は、京都教育大学と京都地区の本学を含む7大学(2022年度より9大学：予定)との連合方式で設置する、教員養成に特化した専門職大学院(高度専門職業人を育成する大学院)です。学部卒院生と現職教員を対象として、理論と実践を融合させた教育により、実践的指導力の高い教員の養成を行います。

京都連合教職大学院を構成する各大学に対しては、特別推薦入試での推薦枠が設けられています。本学では、特別推薦入試に関する学内選考の説明会を実施します。詳細は本学ホームページでお知らせしますので、確認してください。

◎『教職課程履修カルテ』を記入していますか？

『教職課程履修カルテ』(現代こども学科は「meine karte」)は、教職について各自が学習し体験した内容を記入するもので、「教育実習」や特に「教職実践演習」の授業においてそれまでの学習や体験を振り返りながら活用されます。(文部科学省の指導により2010年度以降入学の教職課程履修者全員に「履修カルテ」の利用が義務付けられています。)

2年次の春学期(音楽学科音楽文化専攻は1年次の春学期、現代こども学科は1年次の秋学期頃)から利用開始です。

◎「教職特別演習Ⅰ・Ⅱ」のお知らせ

教職に就くことを本気で目指す3・4年次生を対象として「教職特別演習Ⅰ(3年次秋学期科目)」「教職特別演習Ⅱ(4年次春学期科目)」を開講しています。ロールプレイやグループ討議などの演習を通して、実践的な教師力を高めることを目標としています。

◎1年次生対象 教職課程説明会

主に1年次生を対象として、毎年、秋学期に「教職課程履修希望者説明会」を実施しています(現代こども学科を除く)。履修の心構えや履修方法、支援体制など、学びの流れを紹介しますので、教職課程の履修に興味がある人はぜひ参加してください。

◎教職課程センター関係の取り組み(2020年度の実績)

教職課程センターでは、教職を目指す学生への支援活動として、センターに入室して様々な教職に関わる相談にお応えすることは勿論のこと、教員採用選考試験対策として下記の取り組みも行っています。

「教職課程研究会 夏期集中講座(オンライン講座)」

実施期間：2020年8月28日に実施しました。

内 容：「教員採用試験の動向」「場面指導」「集団討論」「論文文対策」

参 加 者：50名

指 導 者：教職課程センター教員(4名)

(2021年度は8月実施予定です。)

「教職課程研究会 春期集中講座」

実施期間：2021年3月12日に実施しました。

内 容：「面接対策」「場面指導」「論文文対策」「集団討論」「卒業生への質問会」

参 加 者：67名

指 導 者：教職課程センター教員(4名)

(2021年度は3月実施予定です。)

「特別講演会」

実施予定でしたが中止しました。

(2021年度は実施計画中です。)

※教職課程センターは、京田辺キャンパス T552(聡恵館5階)、今出川キャンパス R112a(楽真館1階)にあります。是非活用してください。

編集後記

寄稿していただいた原稿から、この1年が誰にとってもコロナの話題抜きには考えられない辛く厳しいものであったことが感じられます。振り返れば、春学期当初からの遠隔授業、秋学期のマスクやアクリル板を隔てた対面授業にそれぞれが対処し、懸命にここまで過ごしてきました。昨年の本欄では、正門近くに咲くミモザにコロナ終息を願いました。今年こそは明るい季節が廻り来てほしいと思いつつ、京田辺校地の満開の桜を眺めています。